

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2014年7月10日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

生活保護制度の改善を

基準引き下げ中止を求め、各地で宣伝行動

支給日宣伝



生活保護基準の引き下げの中止を求めて、道内各地で、7月分の生活保護支給日宣伝行動が行われました。

札幌北区 相談会案内も配布 チラシみて相談も

7月1日、札幌北区役所前での行動には約10人が参加しました。「みなさんの暮らしはいかがですか」「基準の引き下げは、就学援助、最低賃金、各種減免制度など、多くの人にも影響します」など、生活保護利用者の深刻な実態にも触れながら、制度の改善を訴えました（写真）。10日の相談会チラシも配布しました（当日、チラシを見て、生活保護利用者から相談もありました）。

小樽 「戦争の道は社会保障破壊の道」

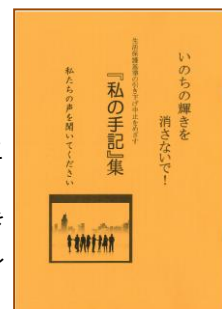
7月3日、小樽でも、長崎屋前で、生活保護基準引き下げの中止と合わせて、集団的自衛権の閣議決定撤回をもとめる行動も行い、約10名が参加しました。「戦争の道は社会保障改悪の道」と訴えました。呼びかけに応じて、多くの市民や観光客が署名に応じました。

8月も支給日行動を行きましょう

8月は生活保護基準が引き下げされて1年です。道内各地で宣伝行動など具体化しましょう。

「私の手記」集を作成

道内では、1400世帯が生活保護基準の引き下げ中止を求めて不服審査請求しました。道生連は、この度、請求書に添付した「手記」集「いのちの輝きを消さないで！」を作成しました（1冊200円）。



生保基準引き下げ許すな！裁判勝利めざす 今後の主な予定

7月19日（土） 14:00~15:30 札幌・東区センター大ホール（2階）

「生存権裁判を支援する北海道の会」「生活保護制度を良くする会」合同総会

8月1日（金） 13:30~15:30 札幌市教育文化会館・305研修室

保護基準引き下げ1周年、裁判提訴に向けた「生活保護学習集会」 講師 尾藤廣喜弁護士

10時30分から、裁判提訴についての記者会見を行います



7月22日（火）くらしのSOS 何でも電話無料相談

0120-290-710（フリーダイヤル）

10時~16時 主催 雇用・くらし・SOSネットワーク北海道